

TICAD IV(第四回アフリカ開発会議)



● TICADとは、アフリカ開発をテーマとする政策フォーラム。1993年以降、日本が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世銀等と共催して開催。5年に1回の首脳級会議に加えて、閣僚級会議(これまで4回)等を開催。

→90年代前半、冷戦終結に伴って、アフリカへの関心が低下。TICADの開催により、アフリカ問題の重要性を再認識。

→アフリカの「オーナーシップ(自助努力)」と国際社会との「パートナーシップ」の重要性を提唱。

● 03年のTICAD IIIには、アフリカ23か国の首脳及びアフリカ連合(AU)委員長を含む約1,000名が参加。

● 2008年5月28－30日にTICAD IVを横浜で開催予定。

→近年のアフリカにおける政治・経済両面での前向きな変化を後押しするため、「元気なアフリカを目指して(Towards a Vibrant Africa)」との基本メッセージの下、今後のアフリカ開発への国際社会の取組を具体的に打ち出す。

→具体的には、①成長の加速化、②平和の定着、MDGs達成を含む「人間の安全保障の確立」、③環境問題・気候変動問題への取組に国際社会の知識・ノウハウ及び資金を結集。

→G8北海道洞爺湖サミット、アフリカ関連イベント(野口英世アフリカ賞)等と有機的に連携。